

ん野菜食つたの久しぶりや」。その代り時間がうんとかかつて、火を起しかけてから食べ終るまでに二時間半ぐらいかかったでせう。だが料理しながら、焼いたり煮たりしながら、シヤベリ続けたので、腹は減つたが退屈はしなかつた筈。彼の仕事のこと、彼の同僚のこと、旅行のこと、本のこと、世界情勢、日本の国内情勢、市井の状態、研究室のこと、勉強のこと、静岡の「阿呆の天国」のこと等々々<sup>(ママ)</sup>。途中へボ碁を一局やつて、十時すぎまでシヤベりました。

九月十七日(日)晴、雨、嵐。

久しぶりに日が照つて、朝からこの家の庭のすみのプールへ大勢の人が来て、いよくセメントを入れ始めました。町会か隣組の勤労奉仕隊でせう。五間に三間、深さ一間と云ふ貯水池です。夏の始めの炎天に数日かけて、やはり勤労奉仕隊の大勢で掘つたのですが、一夏そのままにほうつてあつたのです。僕は米をほして、虫をとりました。

おひる近く驟雨があり、庭の奉仕隊も雨やどりのした頃、玄関のベルがなるので出て見ると、利ちやんがぬれぬづみで立ってゐました。僕のワイシャツやかんな、のこぎり、その他辻岡さんへ預けてあつたものなどを持つて。勤労奉仕や試験で忙しいらしいが、身体の方は元気だとのことで安心しました。ひろちやんは有田から、入営決定まで東京で勉強せよ、帰ってくるなと電報まで来たのに、荷物をすつかりまとめて自分の家であそぶつもりで、この二日に帰つたださうですが、家で怒られてまたぞろ帰京することになり、「あつちやん」に上京するから外食券を都合しろと云つて来たので、あつちやんも困つて利ちやんに相談して、「まだ来るな」と電報うつたこと。あつちでもこつちでも「来るな来るな」の電報で、彼も立往生のていたらくです。

僕の夜の分まで炊いてあつた雑炊を二人で食べて、雨もやまつたし服やシャツも一まづかわいたので、おひるすぎ利ちやんは帰りました。

入れちがひにあなたの十五日付手紙が来ました。僕の九日付手紙には、恐らく畑中特派員の切抜き1、2、3ぐらいが入つてゐたのでせう。それをどこかで抜かれたのかしら。「近代化」と云ふことの標識は、市民生活の自由の程度にあるのですが、我が国では戦時でなくても通信の自由も極めて不安定だったので、今なんかは一そうひどいのは当然でせう。

僕の「プランテーション」のゲラ刷は届いたですか。あの第二章以後、殊に第四節から第五、六、七節、第三章、第四章等を読む時に、日本の現実が頭に浮んでくるかしら。僕はアメリカのことを書きながら、殆どたえず、日本のことを

考へてゐました。前資本制または非近代制と云ふものが、どんな所に根柢があり、どんなあらはれかたをし、どんな影響をもつものか、かう云つたことについて、アメリカのことを書きつつ、実は日本の現実の批判もしてゐたのです。そして僕の「ブランテイション」の意義は、まさにその点にある筈なのです。だがそれが僕の意図したやうに読者に読みとつてもらへるかどうか。この点に個別と普遍（普遍）、現在と歴史、自分の周囲と世界、之等のディアレクティクがあるのです。

あなたの感想は出来るだけ詳細に（一節一節について、或ひはもつと詳しく）ほしいけれど、それがあなたに重荷になるのだつたらカンタンでもいいです。ゆつくり熟読して理解して下さい。そして最も冷静に公平に意見を云つて下さい。本になつてまた読んでもらふつもりだけれど。註も一応読んで下さい。註の中で相当重要なことも書いてゐますから。数字は煩しいけれど、統計と云ふものの見方を訓練することも、あなたが無駄でない。僕も統計学をやつたわけでないから、出来るだけわかり易くパーセンテージにしました。賃銀とか所得とか労働時間とかについては、日本のことも考へながら数字を見て下さい。大体向ふの一弗とこちらの一元とは、生活程度を基準にして等置（等置）していいでせう。日本ではまだ、センサスの数字をこの程度にでも分析し、利用した労作はないのです。工業統計や労働統計にも相当貴重なものがあり、統計の点でもこの本には相当意義ある筈なのです。大分自己宣伝じみたけれど、まあ読んで下さい。

小此木君からレーンの心理学の積（積）原稿、一昨日届いたので読み出したが中々面白い。僕があなたへ書いて来た勉強の方法などについても、ここに面白い実例がある。即ち子供には目的より手段をより高く評価する傾向のあること、その傾向こそ子供の成長の原動力をなすことが指摘されてゐます。そして悪い教育を受けた大人が手段より目的を重視する。手段とは過程であり創造的活動であり、目的とは状態であり所有である。大人は創造的衝動よりも所有的衝動の方が強いが、子供は所有的衝動よりも創造的衝動が強い。子供にとつて興味の対象は、所有した状態ではなくて、それへ到達する過程、行為である。例へば赤ん坊が拳を口へもつて行く、之は赤ん坊が手を意識し手が自分の思ふやうに動くことを発見して、之を自分の唯一つの快楽獲得の方法である口へもつて行かうとする、口は赤ん坊の快楽の唯一つの機関である。所が赤ん坊は拳を口へ入れた状態よりも、拳を口へもつて行く動作に一層興味を感じる、だから之をくり返しもつて行く、所が母親は赤ん坊が拳を口へ入れた状態を欲してゐると考へて之を入れてやる、このことは赤ん坊の創造的努力（口までもつて行くと云ふ）を実は妨害することになる。そこで赤ん坊は興味を阻害された不満から泣き出す、それを母親は赤ん坊が空腹なのだらうと理解する、空腹で口へ入れた拳が実は食物でなかつたから泣いたのだらうと。そし

て砂糖水をつくつてやる。この砂糖水は赤ん坊の創造的努力を<sup>(痛)</sup>痺させる<sup>(麻酔)</sup>摩睡剤になり、赤ん坊の健全な成長を阻害する云々。

勉強についても我々大人は悪い教育の結果、「知識を所有した状態」を常に目的としてそれを重視し、知識を獲得し物の弁証法を認識して行く洞察して行く過程を重視しない。そのために努力なしに一举に全知識の所有の状態へ達したいと考へ、その不可能なところからあせり、勉強の努力を放棄する。「知識を所有した状態」の喜びは多くの場合、人に威張つたり、人に学者だと思はれたり、話題にしたりすることの喜びだが、それは「感能的な」「低次」な喜びであり、「知識を獲得して行く過程」「認識を深めて行く、洞察して行く過程」の喜びは、「精神的な」「創造的な」「高次な」喜びと云ふべきなものでせう。さう考へて来ると、学校の教育がまるで逆であることに気がつく。学校教育は認識を深めて行き、物の性質を知つて行くことの訓練よりも、他人がすでに認識した既成の知識を「所有させる」ことばかりをやつてゐる。(教師が自分で認識したことですらなく、<sup>(教科書)</sup>教課書になつた知識の切り売り、受け売り。)所謂つめ込み主義です。試験制度もわかり。物を認識し研究する方法の正しさを試験するのではなく、他人の知識の所有の状態を試験するのです。既成の知識の所有の状態には、何にも独創的なものはないが、自分で物事のディアレクティクを究め認識して行くことは、たしかに創造的であり独創的です。実は僕の歴史学がこの段階の第一歩へ達したのもこの一、二年のことです。今度の本はその最初の成果ですが、そのくらいですから貴女にまだえらさうなことの云へるがらでないのです。いづれにせよレーンは中々面白いし、子供の育て方などに相当注目すべき洞察力のある意見を含んでゐるので、要所を写してあなたとふうちゃんにと送つてあげませう。あなたが読んであげるといいと思ひます。

夕方から嵐のやうになりました。早川君の所へ行くのを中止しました。嵐になつたら電車が通じなくなつたり、さまざまの故障が出来る可能性がありますからね。夕食はジャガとカボチャとをすり込んだムシパンを作りました。中々おいしく出来ました。メリケン粉もササゲもぼつ／＼おしまひです。ササゲはごほんに炊きこむのに大変いいし、信州でいただいたあれだけで、毎日つかつて二週間以上あつたのですから、我々には適當です。若し手に入つたら少しでもいいから御願ひします。どうもこの頃少し注文が多すぎるかも知れませぬ。

風がうなつてゐます。時々雨が乱暴に雨戸をうち叩きます。今夜は早寝させよう。ではおやすみ。

九月十七日夜。

謙一

## 謙一から幸子あて（一九四四年九月二〇日の記）

九月二十日。

十八、十九日の分は別に出します。今ちよつと外へ出るので、「プランティション」の「序章」を同封します。なほ、今、あなたの十七日朝と夕との手紙（不幸な女の話のある）と小包を受取りました。有難うございます。メリケン粉は丁度あと二、三回分しかなかったので助かりました。なほ、くわしいお礼は帰つて来て書きませう。とりあへず。

## 謙一から幸子あて（一九四四年九月一八〜二二日の記）

九月十八日（月）晴。

嵐の翌日でいいお天気です。昨夜の嵐は雨を伴はず、壮観なほど黒い雲を南から北へ吹きとばし、その雲の疾走のときれに、星空が毅然として輝き続けました。驚いたことに、その乱暴な風が地物を打ち叩き蹴ちらしてゐるのに、虫の音が風の騒音に挑戦するやうに終夜、高らかにひびきわたつてゐて、朝、風がやまつた時まで、やがてやはり残暑の日が照つて、名残の蟬の音が喧しくわき起つて来るまで、疲れも知らずなりひびき続けました。何と云ふ虫共の強靱なエネルギーでせう。人間にこれだけの不屈な力があれば、ホイットマンぐらいでせうね。今までの詩人の中で、どんな嵐の中でも無限にうたひ続け、遂に嵐に打ちかち得る秋の虫の大軍に匹敵するのは。

日中はやはり暑くなりました。馴染の百姓家へ子供のおもちゃやお礼にみんなで進呈しました。おさつは来月になる（この辺はずつとおそい）が、カボチャをくれました。庭のプールも大分はかどつて、もう底もふちの壁もセメントが入りました。之が夏のはじめに出来てゐれば、水浴びの誘惑にもなつたこととせう。近頃都内の防火プールへ子供が落ちて死ぬ事件がよくあるさうです。

九月十九日（火）晴。

昨夜今井先生を訪問するつもりでしたら、食事にひまどつて（火にしくじつた）おそくなつてやめました。此の頃の食

事はやはり雑炊とオヤキです。雑炊にはカボチャ、ジャガ、ナス、メウガ、ナツパ等は入ります。

今日は夕方から灯火管制の演習があるので、昼間先生をたづねることにしました。N君をつれて行く準備（ヒゲをソツたり）してゐたら、サイレンが鳴つたので、防空服に着がへ一時頃に出ました。防空服ではやはり相当暑い。

先生は大分やせました。何となく頼りない感じが、どうしても追ひ払へません。「夫人はどうです」ときいてゐました。話すことは割合元気なことです。三時頃に警報がとけたので、帰りに山陽堂へ廻らうと原宿の駅で下りると、参道の端の飯屋に「外食券要りません」とあつて、何か人が食べてゐる一軒があつたので、もう四時頃だから夕食の補助にと思つては入ると、チラシ（近頃のチラシは色つきごはんの上に干瓢とでんぶとしひたけぐらいのをせたにすぎない）のやうなものなんです。一つ注文すると、一円二十銭だとのことで、すしやなら三十銭か四十銭で食べさせる（但し一時間か二時間並ぶ）ものを、三、四倍でうつてゐるわけです。それでも次々と人がは入つて、僕が食べ終るまでには「売切」の木札が掲げられました。山陽堂は女の子がテイ身隊でゐなくなつて現金買ひになりました。

あの辺の本屋を軒なみにのどいて、帰ると六時半ぎりぎり、その六時半から灯管が始まりました。留守にあさちやんとツル田君とが来て、ツル田君はすぐ前まで待つてくれたとのこと。めつたに留守にしないのに、その留守にかちあつて、あさちやんには二度もカスをくはせました。灯管には、この二階は目立つので、雨戸をすつかりしめ切つて、ひつそくしました。レインの訳稿をうつすだけで、早ねにしませう。

九月二十日（水）晴。

今日は芦野理事が来たので、ちよつと会つて、おひる前から神田へ出ました。残念乍ら本屋休業日でした。伊藤書店へ寄つてツル田君に会ひ、学士会館で昼食しようと思つたら売切れで、本室へ行き二、三の人に会つて用をすませ、電話で吉武君が留守に来てゐるから、まつすぐ帰つてくれと云つて来たので、いねちやんとこへちよつと寄つて、あさちやんが二十二日に帰ることをたしかめ、明二十一日夕方、どこかで食事しようと約束しただけで、急いで帰りました。

吉武君は十六日にも来て留守だつたのですが、今日も二時間余り待たせて気の毒でした。いろんな話のあとで、彼の家庭のトラブルについてうちあげました。あの時（七月）は僕のすすめたやうに、母親に冷静に話してうまく行つたのですが、七月末か八月のはじめかに、お父さんから帰京するから迎へに来てくれと云つて来たので、吉武君は向ふの女の人との関係をきれいにして帰つてくるのだと思つて迎へに行つたださうです。所が帰つてから、まだ文通してゐるこ

とがわかり、お母さんと妹さんがフンガイして、家庭の空気甚だ陰悪となり、妹さんはお父さんに詰問手紙を書いて吉武君に見せたので、吉武君も親父さんに対してふんがいしてゐたとは云ふものの、その詰問手紙の調子にはどうも同意出来ず、出すのをやめさせたと云ふのです。

「どうも妹がオフクロと一緒になつて、却つてオフクロの気持を刺戟してゐるらしい。前は僕と協力してオフクロの気持を穏かにするやうにとめてゐたんだが。」うん。それや君が親父さんに同情し、君の妹が母親に同情する理由は甚だ簡単な。男だからとか女だからとかの問題ぢやない。君が恋愛結婚し、妹が厳密には恋愛結婚しなかつたと云ふことにあるのだらう。君は恋愛結婚したから、人間関係の内容の方に重きを置いて、親父さんがその女の人と結合して行つた気持に同情をもてるのだらうが、恋愛結婚しなかつた妹君は、人間関係の形式的面がより重大で、内容への同情はないのだ。結局君が何とか機会をみつけて、親父さんにはつきり話すより外ないね。大体大阪へ迎へに行つた時、その点はずつきり話しあつておくべきだつたのだね。親父さんの良心に信頼したと云ふことと、問題をはつきりさせると云ふこととは別だから。だが今となつても、やはり君が親父さんに口頭なり手紙なりで、問題を片づけてくれるやうに、少くとも目黒で君のお母さんや妹さんに厄介になる以上は、それらの人達の生活を尊長するやうに、ことをわけてはなすより外手段がない。併し何と云つても、事の起りが不鮮明なのが一番いけないやうだ。事の起りがよくわかれば、君のお母さんも、あの時ああ云ふ態度だつたのがいけなかつたのかと反省出来ることもあらうし、感情も合理的に働くだらうが、事の起りがわからないと一切が非合理的に動くより外ないからね……」。

僕の人生相談の答案は大体右の如くで、結局要領を得ない。凡ゆる人生相談屋の答が要領を得ないと同様に。とにかく彼の父は舌ガンで、今年一杯もつかどうかと云ふ状態で、話すことも食べることも極めて不自由であり、その為、彼の母親は夫君の不行跡に不機嫌でゐながらも、自分の食べるものもたべずに看護してゐると云ふのです。そんな重態でもやっぱり老人は大阪の女の人と、自分の糟コウの妻の目の前で文通する。いやそんな重態だから一層さうなのでせう。より切実に、内容的な人間的結びつきを欲求するのでせう。彼の父にとつて、その内質の欲求たる大阪の女の人の世話をするということ、社会的形式上の欲求たる自分の妻子と共に住むこととの間に、多くの旧時代人が悩んで来た悩みを持つて余しつつ、いはば余命を削つてゐるのでせう。かかる事態に対しては、よき息子たる吉武君の明識と誠意と勇氣とをたのむ外ない。その彼自身の妻君も十一月に迫つたお産をひかへて、サカゴらしいと云ふことを心配してゐるのです。今朝お手紙二通（十七日付）と小包を受取りました。暫く御手紙なくて物足りなかつたところ。

不幸な娘の話。人間生活は歴史的な大不幸とまるで無関係なやうな小さな私的生活の面でも不幸に充ちてゐますね。しかも、そんな人生にも、おかしきこと、笑ひが絶えない。石橋童謡君の話す床屋のやうな。

ガーデガンとかブルーズとか、どうも苦勞をかけます。大変嬉しく思ひます。さう云ふものを買ひたいと昔から思ひ乍ら、そのままだつたのですから。眼を悪くしないやうに。ふうちゃんにもよくお礼をおつたへ下さい。小包の品物も何れも結構でした。タラもさつそくつまだけれどおいしい。フクラシ粉も有難う。今日ビーマンを買へたから、これを朝ちゃんにたくしませう。

「プランテイション」緒論、大分あなたを悩ませることせう。僕もあの緒論には、一番力を入れたのに、一番不満なものになりました。特に「アメリカ史と南部プランテイションの歴史」の項は、一番書きたくて、結局一番出来のやうです。それと云ふのも、あの項は別に二百枚ぐらいに書いて、第二部とする予定だつたのに、途中で余り大きくなるからと思つて、歴史の部をやめ、その分をあれだけに押しつづめたからです。それに僕の文章自体が、全体として甚だ悪文であることを反省させられます。結局現在の僕には、あの緒論のやうなものを本当にスツキリと、論理と歴史との統一として書く力が出来てゐないのでせう。今度のプランテイションの叙述で僕の一番心したことは、歴史的なもの（具体的なもの、個別的なもの）と論理的なもの（抽象的な理論、普遍的なもの）との統一、その総合と云ふことだつたが、それをまだよく実現する力がなかつたのを感じます。あなたの御意見、もつと齒に衣きせずで結構です。自分をふりかへらずに云つて下さい。そのことがあなた自身にとつても一つの格闘であるやうに、あとを待ちます。

九月二十一日（木）晴。

冷しくなりました。夏のシャツだけでは日中でも時にさむさを感じることがあります。レーンの訳稿のうつしをあさちやんに頼むために、今日は夕方まで、そればかりやりました。レーンは歴史的知識（原始人の）と条件反射学（意識の発生の生理学）とを知らないこと、そして哲学上の素養が不十分であること、之等の欠陥をもつてゐるやうです。彼はフロイドの捕へかたが若干脆弱な所もありますが、少くともブル科学としては最高の洞察をもつてゐるやうです。彼はフロイドの系統ですが、フロイドよりは歴史的観点（発達の）に立つために洞察が正しいし、フロイドの病理学的なのに比べて教育学的で、我々にも親しみ易いでせう。之を見ると我々が、いかに多くの小児病をもつてゐるかがわかつて恥づかしいほどですが、その小児病の根源もわかるので、自己反省が科学的になります。僕が中学の教師になる時のために、大

部分写しとりつつありますから、之はあなたが保存しておいて下さい。保存に都合いいやうに、表紙でもつけられたらつけておいて下さい。急いで書いたので字が読みづらいでせうが。不二ちゃん、あさちゃんにも読んであげるといいと思ひます。ただ西洋人のせい<sup>せいか</sup>、性教育が大変大きい部分をしめてゐるが、之は男の子をもつ親には必要でも、女の子の親には、こんなにまで重大に扱はなくていいのかも知れません。早苗のオモチャのえらび方などに参考になるでせう。みつちゃんには僕がその中話をしてあげることにしませう。

なほ、早苗ちゃんが絵を好きなのは非常にいいが、丁度四つ、五つの頃には音も大切です。音の区別（絶対音感）はその頃にやると一番いいのです。簡単でも正確な楽器を与へることが出来るといいのだが。いねちゃんのオルガンなんかいいのだが。それでドレミファを正確に教へ、いいレコードをきかせて、音の世界を豊富にしてあげなさい。

夕方銀座であさちゃん、いねちゃんと落合つて今新で食事しました。ピーマンと、レーンの原稿と、お金80円をたくしました。80円の中30円は生活費、50円は借金の返金にして下さい。家をかりるなり部屋をかりるなりすれば、もつと送るやうにしませう。僕の方は野菜を買ふだけなので、生活費としては大いにきりつめてやつて行ける筈です。本も来月中には出るでせうし、ボーナスまでには印税もは入るでせう。印税は一割二分で、初版二千部で定価六円（税四十五銭、計六円四十五銭）ですから、所得税（一割五分）をとられても千円はは入るでせう。借金六百五十円を返して、あと二、三百円は貯金しておきませう。だがこんなこと考へるのは捕らぬ狸のやうでもある。一回空襲来ればオジヤンになるかも知れないし、まだ検閲と云ふ厄介ものがあるのですから。

紙芝居はふうちやんととんだ荷厄介を与へたやうで、却て気の毒したとも思ひますが、又一つ新しいのをたくしました。中味はよく見てゐるのですが、外のは大い時局物なので、それにしました。子供のオモチャもむつかしいですね。

九月二十二日（金）晴。

すっかり秋です、と云ひたいほど、日中でも冷しく、セーターでもよささうです。

今日は、あさ、いね両ちゃんがついて、にぎやかになつたでせう。

二十日のお手紙二通受取りました。「オブローモフ主義」を読めば、レーンの心理学がオブローモフ主義にも適用出来るのがわかるでせう。

貴女が看護婦見習をするのもいいことです。凡ゆる技術は技術そのものの効用もさり乍ら、その人間の生活に正しい自

信をもたせる意味でいいことです。特にその技術が「見せびらかし」に適したやうなものでない場合は、その技術から来る自信は正しい健全な生活的自信になるでせう。

所でレーンは、あとそのくらしいの分量残つてゐます。青春期はもう少しですが、外に二、三の論文があるのです。何れも面白いものです。併し之はちよつと遅れるかも知れませんが、独立戦争をすつかり書きなほしてみたくなつたので。

月曜から白田嬢が今度は殆ど僕の助手に近い形で、出はじめます。タイプは頼めないが、ノートはたのめるので、仕事はかどるでせう。新しい女の子が二人来ることになり、全部で四人になるので、二階にも二人配属することになったのです。タイプピストがほしかつたのに。仕方がないから僕がタイプをならひます。ピアノと一緒にやればいいでせう。芋の出はじめる来月まで、こちらは野菜枯れで、菜つ葉ばかりです。オヒタシにして食べてゐます。あさちゃん、いねちやんからバタ、塩、醤油をもらつたので、大助かりです。あなたからもよく御礼を云つておいて下さい。雑炊をすること、塩や醤油やみそが足りなくて困つて、いねちやんにたのんだのでした。火や水が不便だと、おかづを別に作ることは面<sup>めん</sup>仆<sup>ぼく</sup>で、やはり当分雑炊でやる外ないでせう。雑炊へ入れられるやうな豆とか凍豆腐とかオサツとか、配給になるといいのに。近い中凍豆腐一個か二個配給ありさうですが。(ゴマが入つたらゴマ塩にして送つて下さいませんか。スリバチをあさちゃんにあづけて了つたので、こちらにあるゴマもそのままになつてゐます。) 休みが二日つづくので、又大分人が出るでせう。僕は二三日の夜、早川君の所へ行くだけです。日曜にはツル田君が遊びに来る筈。では今日は之だけで出させませう。

九月二十二日午後

幸子様

謙一

あさちゃんにもことづて頼んだが、疎開証明書を至急郵送して下さい。原宿の八百屋の荷物、まだ出せないのです。それから廿日午前に一通手紙出しました。中味は「ブランテーション」の「まへがき」です。

幸子から謙一あて（一九四四年九月二〇日の記・消印）

九月廿日午前十一時。

唯今十七日附の手紙落手。其の前日出したと云ふ（十四、十五日分）手紙は届いてゐません。最近どうも着かぬ手紙や電報が多くて困りますね。人手不足のせいならいいけれど。（切ぬきは四回目まで来てゐますから、五、六回分のがなくなつたんですね。手紙は七錢切手二枚あつてあるのに、五枚しか書いてない。無駄な事をしたものだと思つてゐたんです。）此の手紙を出す二時前に、一本あなた宛出してあります。内容はサイホウの事、あつちやんの就職のこと、貸部屋のこと、論文のこと、本の事です。

十七日の手紙の児童の心理学、実に面白くよみました。お母さんも聞いてゐて、むづかしいが一寸はわかる、なんて云つてゐました。本当にさうです。目的ばかり重大視する考へ方が圧倒的ですね。私の勉強についても其の通りです。早く「沢山の知識を所有した状態」に達し様としてあせつてゐたのです。此の半年間（昨秋から春へ）の私達のゆきちがひも、私のさう云ふ考へ方に起因してゐました。だから何はさておき詰めこみ的な勉強を第一番と考へて、凡ての時間をそれに当てはめたいとあせつたのですね。でも、そのまちがひは解つたと云ひ条、未だにね根々残つてゐます。一寸でも読めなかつた日は、イラ／＼して「しまつた！」と悔ひる氣持が強く、「他人の既成の知識」の獲得ばかり重大視するところが大いにあります。自分で考へるよりも手つとり早く、いろんな概念を樂に自分のもの出来るからですね。心理学は学者たちの専門で、医者とか犯罪を調査する人たち、そんな人たち丈に任用のもので、普通の人間にはあまり用のないものだ位に考へてゐましたが、大ちがひなんです。大塚さんも心理学へゆき、小此木さんも心理学をやつてゐる—なんて、何か共通の原因があるかの如く一寸感じました。歴史、科学、心理、芸術等々、あらゆる學問は各各独立した存在である様でゐ乍ら、どれ一つとして聯関しないものはありませんね。各々人間の成長、發展に伴つて成長して来たもの、人間の考へ方の進歩發展の結果だからでせうね。

利ちやん時々訪ねて来るらしいのね。雨に濡れて、又後で熱を出さなければいいが。学校の方一寸暇になつたら、信州の秋を味ひに来るといいのに。まだ行つた事のない天竜の向ふの方やなんか遠足したいけれど、相手なしだから、利ちやんが来たなら一諸にゆきたい。それにもうおさつがうまくなつてゐるから、おヤキだの、おサツを腹一杯食べさしてあげたいと思つてゐます。

論文の感想は出来る丈詳細に書くつもりでゐました。きつと幼稚な感想で、氣に入らないかも知れませんが。でもそれが私の限界ですから、がまんして下さい。段々すこしはましになれるでせう。

フーチャンはひところ、ロバート・ライリイやヒューズをよんでゐましたが、二、三日前から二人でいろいろ話したあ

げく、ドプロブリーユネフの「オプロモフ主義とは何ぞや」を読み始めました。ときものや、ぬいものをし乍ら、二人で代る代るよみ始めました。五十ページ位まで読んだら、もう一度ルーデンやオネーギン、レールモントフをよみかへす、その後にオプロモフにかかると云つて、今ルーデンを読んで居ります。早苗ちゃんの近頃の知識獲得の凄い發展ぶり、大人もかうだつたら凄いものですね。其の様子でフーチャンも母親として、あまりのんびりしてゐられない、勉強する態度が早苗に及ぼす影響を考へて、あはて始めたのです。

早苗ちゃんは凄い美術通になりかけてゐます。毎日二度位、二階の勉強間を訪問して、いろんな絵をみます。レンブラントもブリューゲルもヴェラスケスもマネーもゴヤも卒業しました。併し早苗ちゃんが一番好きなのは、ここまで書いたら赤猫のフクチャンが来て、甘へてヂヤマをしてヂヤマをしてペーパーの前に登り、顔にあたまをすりつけ、啼き、一寸も字を書かせません。イタリヤ古典の様です。どうも猫が邪魔をして書けません。今日に限つてどうしたのでせう。プシが死んで其の魂がフクチャンにのり移つたのかしらと思ふ位、甘へてくゝ何もさせません。

明日から家の都合で看護婦見習をします。三人ゐたうち一人は既に試験をうけて免状があつて、残つた二人の中、一年先に来た方が今年講習に出て、試験を受ける事になつてゐました。残つた一番新しい一人は自分が後に残る事をくやしがつて、夏期試験の時、むだんで20日近く休んで勉強して、試験に長野にゆきました。娘が試験を受けたいから来月の試験期日まで休ませてもらひたい、と云つて来ました。今度正式に試験をうける子の方は、三人の中の一人がへれば、病院の仕事もおのずと増えて勉強の時間が減つて来るでせう。其の子は何も不平もぐちも云ひませんし、夜は二時近くまで勉強してゐますから、誰の目から見てもきの毒な立場で、ぬけがけをやる娘の方は自分さへよければと云ふ利己主義があまり骨ですし、親もそんな事は平気で、休ませてくれと云ひに来るんでせう。あまりの事にあきれました。で、今後もこんな事があり得るから、私もすこし見習ひなりとして、すこしでも役に立つ様になれば、互ひに便利だすけになるだらうと思つて、さうする事に致しました。夜更の注射やなんか若い娘を出してやるのは気の毒ですから、注射位は出来る様になつて、そんな時は私が行く様になりたいものです。では今日はこれでさようなら。

九月廿日午後一時

幸子

二、三日忙しくて、机に座る時がありませんでした。

朝夕の寒い位の涼しくなったこと。スカートはもう洗つてしまひ、モンペを着用致し、冬物を出して虫干致しました。経堂の方はどうですか。未だ日中は暑い日もあるでせうね。ズボン下など、そちらにいくらかありますか。下着の事、どんな風になつてゐるか(何が何枚あるか)お知らせ下さい。夏物の不用品は送つて下さい。整理してしまひつておきます。カーデガンは結局、始めから終りまでフーチャンがかかつてくれました。今日一日あれば出来上るでせう。まる四日位(解いて洗ふときから)かかります。其のうちにモンペ下を縫つて送ります。うすいメリヤスのよりも、かへつてはき心持よく、保温にもなるでせう。二重になつたモンペを作るヨ定で、布地はもう洗つて染めて張つておきました。二、三日、お母さんのものを根をつめて縫つたので、どうも目が疲れて今日は頭も痛く、さいほうは休みにしました。こちらは今おさつの出盛りです。

一昨夜はワシ見さんが久しぶりに来て、自家製のゴールデンデリシヤス、シルヴァ・デリシヤスをくれました。昔の斗士のおもかげは其のまゝ残つてゐますが、知らない人がみれば田舎の好みや(?)みたいで、やさしい声でおだやかに物を云ふ人です。矢張り中々勉強家の様です。彼には本を時々貸してあげ様と思ひます。いい本が沢山あつて、しあはせだと羨やましがつてゐました。大東あ戦の始まる前に大嵐が吹いて、こちらの人はほとんど本を取られたのだ相です。彼も其の時半年位行つて来たと言つてゐました。彼は村でも有名な親孝行者で、人々から好かれ同情され信頼されてゐます。

朝ちやんの仕事は上の人々が履歴書を見て、中々立派な履歴だから、なる丈よいところへ紹介すると云つてゐるとのこと。部屋も有望なのは三、四あります。

1. 松尾村のお寺のそばに老人夫婦つきりの家、きれいで保健的、まどりも多い。
2. 〃 昔、塾だつた部屋、三十帳位、みはらしよし。
3. 上郷、別府、一戸建。
4. 上島二階。

朝ちやんが来てから一諸に見に行つてもよいと思ひます。

南部プランテーションの緒論、よみ終りました。むづかしいけれど、よくわかりました。今日、もう一度全体をスーッとよみ返すつもりです。いろいろ今まではつきりしなかつたところのつながりも出来たし、重要ポイントもわかつて

来た様に思ひます。

今日はどうも目が痛い。又、今夜かきます。十四日原稿以来、手紙も来ず、心配してゐます。

幸子から謙一あて（一九四四年九月二一日の記・消印）

廿一日午後三時半ころ、前から宣伝中のジャンパーとうずら豆を書留小包で御送り致しました。ジャンパーは初めから終りまで、不二ちゃんの製作にかかりました。仮縫が出来ませんので、時々お父さんや南原爺さんにも着て見て貰ひましたが、二人ともまるで身体の格好が異つてゐるので、あまり役に立ちません。そんな訳で身体にびつたり合ふ様にはゆかぬでせう。でも、これからの朝夕の涼しさや夜の勉強に、脊広服の上着よりは楽だと思ひます。着いたら着心持、寸法、どんな風か御暇を見て知らせて下さい。色も中々さへた、いい色でせう。布地は古いけどウールです。裏布地は、私の昔の和服用防寒コオトの裏を染めなをしたものです。とくのも洗ふのも染めるのも地のしも縫ひも、ホームメイドである点が自まんです。

モンペの方は使つておいでですか。あまり活用なさらぬ様なら、それ一枚でいいでせうし、愛用して下さるなら、絹地でブラックに染めて張つて用意したのがありますから、裏をつけてダブルにしたのを追ひく／＼作らうかと思ひますが、如何？

今日は病院勤務第一日で、割合に忙しく三時まですごしました。器具の消毒法、マーキの使ひ方、あと始末、ガーゼの出し方、当て方、ほうたい巻等々を実地で教はりました。受付の仕事のカルテの書き方も覚えしました。

午前中は手術と云つても大きなヨウ位なもので、あとは前にやつた手術の手当やまき換位なものでしたが、続け様の患者さんで相当疲れました。午後は三才位の男児のヘルニアの手術一ツです。午前中は主に私、午後はフーチャンが手伝ひにゆく様に決めてゐますが、この仕事は部分的に覚えてよいものでなく、それでは役に立ちませんから、出来る丈午後も出る様にしたいのですが、どうも9—12時まで立つてゐると内臓が下垂する気味がまだありますから、当分は午前中だけにとどめます。

昨日、緒論の分七、八ページ、ふうちゃんにもよんであげて、感想を聞きました。矢張り文章が長くて、いささか理解困難であること、もつとたやすい言葉を使つて、誰にでも解る様なら尚いい様に思ふこと、それと云ふのも不勉強のせ

②いかも知れぬが、一般大衆は割に不勉強なものではないかなア、なんて其の程度の事を云ひ、要するにわかる事はわかるけれど、ややこしいのでねむけがさして来る、との事です。

今日から第一章、前八―九時までの間、六ペーヂ程よみました。第一章は一も二も楽によめました。本になる時は地図をつけるのでせうね。今晚、疲れてゐなかつたら、五までは読むつもりで居ります。

病院勤務をすると、時間割の勉強がとて出来ません。午後は病院へ行かなくても、お勝手の雑用(ふうちゃんがかけるから)があつて、殆んど夕食後の片づけまで時間はあります。まづ、うまく行つて7½から時間があくわけです。

時間割を変更することでせうね。朝20分位、グランマーをやること位は、きまつた時間をとれ相ですけれど。今まで主力を注いで来たアメリカ史(あなたの前の二ツ、ファランド、アダムス等併行させて、ノオトを取つたり、あちこち比較してよみくらべたり)の方は、中々出来相もありません。地代論など、此のごろ、さつぱりやつてゐません。

英  
リンカーン(訳)  
アメリカ史

ローザ 史

経  
はたの 入門

モルガン  
地代論

これ丈組み入れたのがむりなら、何を省略しようかしら。智慧を貸して下さい。

今朝は朝八時頃まで一七度、午後三時に廿八度になりました。大分、朝、ひる、の差が出て来ました。

こちらもおさとうの配給があつて、今日は砂糖入の紅茶をのみました。みつちやん達は八月の中旬に手紙をよこしたつ切り、ウンともスンとも云つて来ません。夫婦喧嘩なんかしてゐるんではないかなど、お母さんは心配してゐます。教次さんにおついでの時、電話し

て見て下さい。

和歌山からは何とかお便りありましたか。こちらからは三べん程出しましたが、何の音沙汰ありませんけど、気をわたくしてゐなざるのではないでせうね。

九月廿一日

幸子

## 幸子から謙一あて（一九四四年九月二三日朝付け、同日の消印）

第一章(一)は21日午後八時から九時すぎまで、約一時間以上かかつて、ていねいにノオトをとりつつ再読しました。ノオトを取つたら、実に良くわかりました。まづ私は開拓線の膨張は東部の社会的政治的矛盾からのみ発する、—それが唯一の原動力であると思つてゐたことのまちがひがわかつたこと、開拓線の膨張は自由農民の移行丈でなく、南部プランテーションの固有の性質、大規模化からも起る点を知つたこと、それ等と、北部自由農民の西南への流れと衝突し、自由農民が逆に北西へと追はれることがとても良くわかつたこと。

北部資本主義の早期時代と成長時代と南北戦争に至るまでの北部、西部、南部の有機的結合、離反、結合の進展から、段々経済体制の決定的な対立へ向ひ、南北戦争となり、南北戦争後の南部プランターの暗中活躍から、北部と西部の対立、さうして倒れた筈のプランテーション奴隷制度は、生命をふきこまれて復活する、わけですね。

大変面白く映画の場面の様な変化を味ひつつよみました。41ページ四行目から七行程のところ、即ち南部の復活のところは、どうも説明不足の様に思つたのは、其の辺のことを何も知らないせいかしら。ねる前にもう一度よみ返してみます。

1. 何故金融的北東部の政治が西部を南部へ転化させるのか。

2. 従つて西部は南北戦争直後、南部プランターとやす／＼結びつけられるのか。「農民的要素」にもうすこし説明あつてほしい。

尤も此等は後章で段々説明されて来ることも知れませんが、この調子だと全体よめるのは、はるか後の事です。(九月廿一日)

九月廿二日十一時ころ、九月廿日附の手紙(原稿在中の)着きました。

前書、非常によくわかりました。此の前書をよむ人は、きつと本文をよみたい気持をそられるでせう。此の程度の文章なら、誰でもよくわかるにちがひありません。反動的な人も、さうでない人も同様に深く、古き奴隷制度や今も続く—彼等の子孫たちが、くさりやむちがその形こそとらねど、人種のヘン見や経済的社会的圧迫と云ふ形で、尚きつくつな

がれ苦しめられてゐることを感ずるでせう。其の上に立つ彼等の優越を強く感ずるでせう。本文の方は二三〇ページ位まで整本（ママ）して見ましたが、段々楽になつてゐるので、此の分なら楽々とよめ相だと思ひました。

今日はヨ定通りスキマの時間をチヨイ／＼使つて、グランマーもリンカーンもすませました。のころはモルガン丈です。病院も8—12まで勤め、掃除もすつかりすませました。夜のモルガンが早く終つたら、「プランテーション」にかかります。

今度から手紙はフートのすみにナンバーをいれます。今日のが1です。あなたの方もさうして下さい。なくなつた時、わかるから。それから日附も忘れずに。

朝ちやん達が着きました。お金はたしかに戴きました。心理学ノオトも。早苗ちやんへのお土産はお母さんが大よろこびで、夜早速やつたものです。では今日はこれで。

### 謙一から幸子あて（一九四四年九月二三—二四日の記）

九月二十三日（土）曇。

彼岸の中日で、二日続きの休みに、大分人出が多いでせう。今日は夜早川君を訪ふ外、一日チツ居です。レーンを写したり独立戦争を考へたり、「四十年」を読み続けたり詩のことを考へたり、それらすべての前に飯仕度と食事とがある。今日は小使さんも家へかへつて僕一人です。

レーンはいかが。彼の方法で自分を内省してみると、僕は幼児期の欲望（母への欲望）、空想時代の幻想的欲望、殊に自己主張期の欲望等が、すべて異常に執拗に残存してゐるのを感じます。第一のものは、僕が幼少の頃から（小学時代から、特に小学一年頃（八才—西洋流なら六—七才）、同五、六年（西洋流十一—二才）、高校時代、以後ずっと、あなたと結婚する迄）姉を求めて来てゐたこと、また遅れた形の快樂への欲求が最近の漸くの克服まで強かつたこと、しかも実際に性の目覚めが遅れたこと、外部へ依存しようとする傾向の強いこと、等々にうかがはれる。姉への欲求は、青春期以後は友への欲求、知識への欲求、人間的向上への欲求等と結びついた為に或る意味では、遅れた形でなく却つて前進的な形になり、その性愛への発展に於てあなたとの結婚まで到つたのでせう。僕自身の発達が遅れた「母への欲

望」を、ともかくも創造的なものにまで転化させたわけだと信じますが、他面、その遅れたものがあなたとの結婚生活の中で、あなたに「母的」なものを欲求することにもなり、それがあなた自身の欲求と食ひちがつて、我々の間の不満の一つとなつて来たことも考へられる。今この「母的」なものへの欲求が満足させられず、また満足させられることをあきらめ、同時にそれを克服もして（少くとも依存的な責任回避的な要素は）、あなたから離れた生活も可能になつたとも云へるかも知れません。だがやはり、「母的」なものへの欲求は今後も何らかの形で識域下に存在し続けるでせう。それがあなたを欲求する時、あなたを苦しませるかも知れません。なるだけ理性で制御しませう。そしてあなたの思ひやりのある愛で、僕のこの「幼児的欲求」の制御を援助して下さることを望みます。

第二のものは、僕の現実生活への怠惰の中に見出される。不勉強、精力の欠除、不精、簡単に出来ることすら、なるたけ延期しようとする傾向、実行より空論に向ふ傾向、しかも計画だけは誇大であり、成功の幻想にひたることを喜ぶ。之等の、僕自身中学時代から痛切に感じ続けて来て今なほ克服出来ない、否今最も切実に感じる根本的欠陥は、恐らく空想の時代に、その空想を健全に発達させなかつた、その残存物なのでせう。之は恐らく人間として、第一のものよりもっと致命的な欠陥なのでせう。

第三のものは、僕のみせびらかし、饒舌、えこじ、わがまま、氣どり、みえ坊、虚栄心、それらすべてにあらはれてゐる。之等が特に強くなつたのは、中学上級から高校時代以後のやうです。その頃から氣どりが出来、次で自意識（人が自分のことを何と云ふかと云ふことについての意識）が過剰になり、劣等感から自己卑下（実は何とかして自分の価値をみつきたい、自他に承認させたいと云ふ自己主張の仆錯様式）に走り、自虐的になり、大学時代からは、自分を何とかきわ立たせようと云ふ無意識の態度からフラク〜と行動し、しかも自分の無能力についての避け得ない意識から無テツポーな行動にも行き、その後も原初的な稚拙形態は幾分なくなつたといへ、なほしつこく残存して頑固な自己主張癖、押しつけ的な話しかた、せつちち、スタンドプレイ、虚栄心等々となつてゐる。

今度の著述にも、それらの要素は注意すれば到る所に見出されるでせう。之等の為に、大切な「忠実の時代」の発育がおくれ（高校時代前後から）、しかもその発育が不充分で、デリカシーのない思ひやりのない、自己中心的な人間になつて了つたのでせう。そして結論として、僕の最も致命的欠陥は、幻想的であつて現実的でないこと、愛他的でなく小児的な利己主義、自己中心主義をもつこと、所有的衝動が強く感能的快樂への欲求が強いこと、すべてが夫々の程度に抑圧されて来たために精神の発達不全で、精力の集中が極めて劣ること、精神が防禦的で自己弁護的なこと等々とな

ります。(之は自分の性格の欠陥を親のせいにするわけでない。反対に、この欠陥の克服出来てゐないことを自分の責任に思つて、之の克服を考へてゐるわけ。)

理性的努力が今後どれだけ之等の欠陥の克服を可能ならしめるか、それにはあなたの援助が決定的に必要です。之まで或る程度それらの欠陥の克服が出来て来たとするれば、あなたとの恋愛及び結婚生活のおかけでせう。現在の僕の形成にあなたとの結婚がどんなに決定的であつたかを、之等のことを考へることによつて、あなたも理解してくれると思ひます。

早川君所へ行つて帰つたのは十一時半。早川君は、渋谷まで行つて小田急の時間に間に合ひさうになかつたら、逆戻り



右肩(マヤ隠して)

して来るやうにとしきりにすすめてくれましたが、幸ひ間にあひました。

九月二十四日(日)晴。

お手紙(二十一日)と小包とを拝受。不二子さんとあなたとの御親切の成果を着た所は、ざつとこんな風。(立姿は鏡には入らない)。右肩は肋膜のせいで元来落ちてゐるので下のやうになるが、エリをもう少しつめれば多少修正されるやうです(今は夏シャツしか下に着てないせいもあるでせう)。その外は全く申し分なし。ゆつたりして着心地もよく、「スマート」でもあり。不二子さんに厚く感謝を御伝へ下さい。あなたにも有難う。うづら豆も有難う。

モンペも使つてゐます。日曜とか夜とかは之です。之からはひる間も之でやり、買出しの時はモンペの上からちよいとズボンをはいて行きませう。モンペは腰がもう少しゆつくりでもいいと思ひます（ズボン下をはくやうになれば）。そしてバンドをとほす所がある方が便利です。今は紐でバンドのかかりにしてゐますが、便所へ行つた時などは、よく紐がおつこちかけます。それから前ボタンが逆で、ちよつとホックをはづしたりはめたりがしにくい。その他はすべて結構です。ブラックのモンペは、その点御注意下さい。やはりもう一つある方が便利です。病院勤務、御苦労さま。胃下垂を注意して、やつて下さい。

「プランテイション」緒論は、きつと物議をかますでせうね。大ていそこで立どまつて、あとを読んでくれないかも知れませぬ。初校の時、実はすつかり書きなほしたかつたくらいですが、駄目でした。行をかへて、多少読み易くしようと思つたのですが、それでも印刷屋の方で納得してくれなかつたのです。何しろ緒論を書いてた頃は、之を学術論叢には入るものとして書いてゐたのですからね。その後だんだんふくれて、論叢ぢや無理だから単行本になつたのです。いづれにせよ始めの企図とちがつて来たことが、いろんな所にはあらはれて欠陥になつてゐるでせう。論叢は少し睨まれてゐたので、文章を故意に難澁にして、いはばカムフラージュも必要だつたのです。だから貶黜と云ふやうな小むづかしい言葉をつかつたのです。だがムロン根本的には僕の問題把握力の不充分と、表現能力の欠陥とに帰するでせう。なほ、地図は巻末についてゐるから見て下さい（第四章の終りの所に）。時間割はこたはらずに、語学だけは絶対に一日も休まないやうにして、あとは可なり自由にやればいいでせう。アメリカ史は、僕の「プランテイション」を読んでゐる間は、休んでもいいでせう。尤も、さつと「アメリカ史」を通読しておくのもいいかも知れない。みつちりやる前に一応通読することは必要です。年表はいつも参照して下さい。ローザとモルガンとは、モルガンだけでいい。経済学入門もさつと通読して了つて、もう一度ゆつくりやる方がいい。和歌山から手紙が来ないのは、書くことが気が重くて、気になりながらついくのぼしてゐるのでせう。気を悪くするとか何とかは、あなたがよく云ふことだが、思ひすごしです。そんな理由もないし、また今迄の例でみても、さう云ふことはないと思ふ。田舎の人は何にでもスローモーションで、おくくうが<sup>ぶ</sup>つて、その為<sup>ゆゑ</sup>に結局自分を責めてゐるのである。こちらから一々反応せずに、悠々とやるのがいい。だが、僕から母へ云つておきませう。どうも世間的な「失礼」と云ふことの觀念が不充分なので、僕の両親にも困りますが、決して害心や悪意をもつてゐるのではない。齒が痛くて気分がすぐれず、筆もとれないのかも知れないし。

では今日は之だけで出ませう。

謙

幸子から謙一あて（一九四四年九月二五日の記、二六日の消印）

九月廿五日午後。

廿二日附手紙落手。

廿四日の朝、又、南信バスで浪合にゆきました。お父さんは前日、浪合の先、平谷<sup>ヒラヤ</sup>まで往診でありましたのであちらから、私たち（幸子、朝子、稲子）は飯田から、十時に浪合で落ち合ひ、藤岡屋旅館に荷物を置き、十一時すこし前に浪合を徒歩出発、寒原峠へゆきました。入口から三丁位行った一軒の百姓屋で、お茶を貰つてひる食にしようと思つたところ、お彼岸の餅つきをしてゐたので、あんころもちのつき立てをたらふくごち走になり、外にサナギの佃煮、キヤベツの漬物を出してくれました。お礼に、金五円也置いて来ました。四人で此の節、あれ程うまいあんころ餅をたらふく食べれば、あたり前の料金でせう。

それから橋のところまで来て、此の前の様に小さい路へ這入らふかどうかとためらつたあげく、新道を通つて登りましたら、此の前小休止をした炭やき小屋までゆきました。そこから左へ丸木橋を渡り、尚登つてゆくと畑があつて、そこに何とも云へぬ太つた毛なみの美しい清潔な大猫（三毛）がゐりました（炭焼き小屋から同所に至る道の簡略な絵地図が描かれてゐるが、その掲載は省略した）<sup>編者注</sup>。其の猫があまりに美しいので、抱いたり撫ぜたりしてゐると、二匹の又何とも云へぬ胴の短いポチャ／＼の毛のふさ／＼のきれいでかわいい仔猫が来て、キヤア／＼大さわぎをしてゐると、お父さんが「オイ／＼、此処は此の前の家ぢやないか！」と云ふのでのぞいてみたら、矢張り此の前おいもをゆでてくれた家でありました。

そこへはお礼代りに金五円、祝儀袋に入れて来ましたので、はいつて行つて「此の間はいろいろ有難う」と云ふと、よろこんで又招じ入れてくれました。そこで一時から三時まで例のろばたでお話をしました。話してゐるうち何原<sup>イヌハラ</sup>さんは、あの次<sup>白子</sup>□召集されて又征つたとのこと、其の家（川口実<sup>織カ</sup>□）の娘は、うちの前のオーヤ小島へ女中に行つてゐて、家にも使ひに来たとのことでした。あのおばアさんの語るには、すこし高い方に作つてあるおさつを今朝見に行つたら、大半猪にはぢ<sup>ぢ</sup>ぢられて食はれてしまつたとか。八丈と六丈のエン側のついた隠居所があつたが、段々家族がへるので売つち

まった。損をした、あのまゝおいとけば、先生がチョイ／＼来るんなら、先生の休ケイ所<sup>①</sup>にしておけばよかつた等々。其の間にもちきびの凄く軟かであまいのを、15本か16本位、いろいろでやいてくれました。ぢやがもうもろこしも枝豆も、あららぎのはめつぽう<sup>②</sup>おいしいです。腹一杯ごち走<sup>③</sup>になつた上、宿に帰つて食べる分も貰ひました。そこでは今度十月に来る時（もみぢのころ）は、家<sup>④</sup>でランゴクでもよかつたら泊りなんしよ、浪合まで行つて戻つて来て、又泊るんぢや大変だで！とのことで、今度ゆくときは川口家で泊る事にしました。ランゴクと云つても、藤岡屋だつてあまりきれいでありませんから、かへつてあの家の方がいいでせう。もみぢの時と、ま冬<sup>⑤</sup>とに、又ゆくつもりです。（川口家では猫をとともかわいがつてゐるし、ミホ子と云ふ十才の少女がゐます。ここの猫<sup>⑥</sup>のようにかわいくて、きれいでチャーミングな猫は、今まで見た事がない。）

川口家を出て又登つて、何原さんたちとのんだところで、又アイス・□<sup>⑦</sup>□<sup>⑧</sup>ターをのみました。高い花だらけの一軒家（此の家でもおばアさんが出て来て、おやすみて、お茶にしますで」と云つてくれました）まで登つて下りました。あの辺はもろこし、キュウリ、今まつ盛りです。キュウリを買つて来ました。それからテク／＼浪合に戻り、入浴、食事（やき松茸、おろし、新栗ふくめ煮、其の他）、八時にはねました。

朝はお父さん一人早起して、はちみつ屋にゆきましたので、私たちはそのあと三人で合唱し乍ら、治部坂の方へ30分ゆきました。夏と代つて又々変つた美しさでした。帰つて来たら飯田署の自動車で、浪合警サツへ五、六人ドカ／＼下りてゆき、其の中の一人は知つた顔で、誰だつたかと思つたがわかりませんでした。宿へ帰つたらお父さんがもうゐたので、ハネイ（蜂蜜<sup>⑨</sup>ハネイのことか―編者注）は買つたかときいたら、サイダー瓶をボンと一本見せて、売<sup>⑩</sup>る事は出来んが、お医者なら診てくれ、診てくれたら交換にあげるとの事で診察して、もらつて来た」と、他にキャベツ一個、山ぶ<sup>⑪</sup>どう一つつみ。飯田署の自動車が来てゐると云つたら、宿のそばの河、あそこへ、あの橋の上から昨夕うまれたばかりの嬰兒を投げ捨てた者があるので、それでだとのこと。知つた顔のは産科婦人科の西沢さんでした（赤ん坊の解剖に来たのです）。山の畑で昨日の午後あたり生んで、そのまゝ何もつつまず投げすてたらしいさうで、太つたかわいい女の子だつた相です。

家へ持ち帰つてお土産は椎茸五〇〇匁位、あづき五合、キャベツ、キュウリ、はちみつ、私たちのとつたみくち茸20個位、山ぶどう、など。其の他、早苗に吾木香、女郎花、紅葉した木の葉。以上、今日の一時に帰つて来ました。とても／＼楽しい遠足で、此の前はアララギ平と云つてもたいしたところでないと思つたのに、今度はアララギのよいところ

がすこし解つて来た様です。お父さんはどうでもあそこへ、少さい家がほしい様子です。十月中旬にゆく時には、あな  
 たも一諸にゆけたらいいのにね。

レーンの心理学もお金も確にうけとりました。どうも有難う。母と教師に語るは廿三日の日、おさつのくきの整理をフー  
 チヤンとアツチヤンがしてゐる時一時間、夜母さん、ふじ子、あさ子、いね子で裁縫してゐる時に一時間読みました。  
 皆とても面白く感じた様です。本当に子供の時の抑圧された慾望は、後年にいろんな形であらはれて来るんですね。大  
 人の「所有した状態」ばかりを大切に思ふ心や、子供の創造的なよろこびと其の中断、いろいろ早苗ちゃんと同様に  
 て思ひ当るふしが多いです。お母さんは聞いてゐるうち、何となく自分の子供の育てて来た仕方をヒナンされてゐる様  
 に思ふ風で、「そんなむづかしい事、出来るもんぢやない」とかいろいろ抗議しましたが、朝ちやんたちから「お母さ  
 んのやつて来た方針だつて、こんな風に解剖すれば、凄く六かしい理くつでかためる事も出来るんだから、一寸もむ  
 づかしい事ではないぢやないの」となだめたり、「結局こんな風に子供を本位として充分やるためには、ソ聯の様に国  
 家で子供を育ててくれるところが一番、それがやりよいのぢやないか、日本の現在では母親は教育の点でも、子供を思  
 ひやる時間の点でも、母親の周囲の干渉の点でも、甚だやりにくい事ではないか、などの意見が出ました。が、要する  
 に、大人中心から子供中心に考へ尚す事は多いに必要であること、など出ました。授乳の点は、朝ちやんは現在の一番  
 新しいやり方は時間割制ではあるが、其の時間割は各個別の子供の厳密な習慣の研究を基礎として出来上つたもので一  
 律なものではないし、よつ程の人でない限り正確に時間通りスキッチをいれたり切つたりする様によつてゐる人はない  
 とのことです。

どうもあまり長くなりましたから、今日はこれだけにしませう。

疎解証明書、同封致します。

廿五日夜

幸子

謙一様

幸子から謙一あて（一九四四年九月二六日の記、二七日の消印）

九月廿五日夜

盲腸のオペラチオン一ツ

九月廿六日 筋炎、ヨウ、鞏丸炎 小オペラチオン三ツ

九月廿六日午後 指、ひざの手術二ツ

手術にもすこし慣れました。機械の名前もすこし覚ええました。もう一ヶ月も立てば、手術のアシスタント位にはなれるでせう。昨日から頭痛や熱で、風邪かと思つてゐたら MENTH(S) になりました。矢張り駄目でした。おくれたので身体の具合もわるくなつたのでせう。

いねちやん達があるるので、家は女がお母さんから早苗ちやんに至るまで九人になり、其の騒々しいこと、お母さんは余りの目まぐるしさに、いささか逆上してゐる様らしい。

今日は三時迄で、主な病院の仕事はすみました。二人の看護婦さんのうち一人が下痢でねこみましたので、新米たちは大あはてでした。もう盲腸の手術位にはすつかり慣れました。一番嫌なのは、矢張りメスで切る時です。あの時はどうも嫌な気がぬけません。筋炎（注射のあとの腫れ）の子供は二合位、うみが出ました。それでも案外泣きもしませんでした。

三時からリンカーンのほん訳を致しましたが、どうも頭がぼんやりして、何時も一時間位かかるところを五時半までかかりました。今夜はこれからモルガンです。モルガンが終つたらアメリカ史、プランテーション。

高円寺で寛ちやんが手紙をくれました。歯痛で困つてゐるとか。

前に度々手紙に書いた K の部屋は断りました。K の婆アさんはずるい事がわかりました。部屋代は二つで六十円位とるつもりらしいこと、それが嫌なら貸さぬとか。患者には一日一円と、お父さんは話して有つたのに、何時のまにか十日で五十円位とつてゐる外に、入院患者の家が酒屋ならお酒を、肉屋なら肉を、百姓なら米とか豆とか、ろ骨にねだりとしてゐる事実等が他所からわかつて来たり、K の隣の竹下と云ふ雜貨屋（うちの正面の肴や）が K の借家で、始めは七円の家賃を、石井さんに貸せばもつと儲るから早く越せ〜とせついで二倍にして、それでも「病人に貸せば二、三日でお前の家賃位出るから」と云ふので、組合長が家へ「K に病人をやるな」と怒つて来るとか、ごたく〜がありましたので、あんな家はそれつ切にしました。

松尾へゆく路の途中のお寺もよい相ですし、別府にも一軒ありますが、各戸へ疎解<sup>（解）</sup>児や都会からの妊産婦の強制割当があるらしいので、お母さんはあはててよそへゆかぬ様にとのこと、私たちが行つて部屋にゆとりが出来れば、必ず押しつけられますから。私と朝ちやんとに二階をあけてくれると云つてゐますが、どの程度にあげてくれるのかわかりませ

ん。そんな訳で当分はここにゐるでせう。あなたが来ると解つてからにしてもおそくないでせうから。

吉武さんのお家のトラブルは中々大変ですね。お母さんも気の毒ですし、お父さんのき持もきの毒ですね。大阪の女の人、そのところ何と思つてゐるのでせう。でもまだ文通してゐるのは、すこし非常識ですね。東京へ来ると決つた時、話をつけ相なものなのに。つかないなら東京へ来なければよいのに。帰つて来てそんな事をするのはわるいですよ。吉武さんのお父さんのやり方は、どんな事情のもとに起きた問題にせよ、お母さんに不誠意すぎるやり方だと思ひますね。其の後のやり方がです。相手の女の人も不誠意ですね。ゆるしてくれるだらうとか、どうにもし様がない位にずるくに考へてゐるのでせう。

若しも私が吉武さんのお母さんの立場に立つたら、さつさと大阪へ行つて其の女の人に逢つて話をきき、自分が出るか相手を出すかにしてしまふでせう。又、若し大阪の女の立場なら、東京へなど帰さないでせうよ。そんな事になつてしまつたのなら、きれいな事にすませ様と思ふから六理（六）が出るのです。いつそ東京へついで来て、一諸（七）の家に置いて貰ふ位の覚悟で来ればいいのに。文通なんか大ビラにして、お母さんのき持をチビく傷つける位なら、其の方がまだましなのに。

一人で大阪で暮して淋しければ、お母さんと呼ぶなりすればよかつたのに。吉武さんも両親（八）のそう云ふ事だけに、随分困つておゐるでせうね。あの善良な吉武さんの当惑顔が、目に見える様に想像出来ます。

用があつて、いろいろしてゐるうちにもう九時（九）になりました。今夜はねむくてくとてもモルガンも出来さうもありません。し様がないから今夜は睡眠の方にゆずりませう。

九月廿六日夜

### 謙一から幸子あて（一九四四年九月二五〜二八日の記）

九月廿五日（月）曇。

御手紙No.1（二十三日朝）受取りました。

「プランテーション」の感想、有難う。貴女の指摘してゐる第一章（一）の説明不充分的所は、あとで何度となく出て来て、だんくわかつて行く筈です。第一章では、南部なるものを歴史的に説明する為のデッサンですから、一々説明しな

つたのです。「再建」は僕としても一番書きたいことなので、第二章第四節、第五節、第六節、第七節、第三章第一節等々に繰返し叙述しました。夫々の問題がひろがるにつれて、説明を深めて行つたのです。今後もさう云ふ所がよく出て来るでせうが、一応ノートしておいてどん／＼次へ進んで行くことよろしい。緒論なども全体を一通り読んだあとで、もう一度かへればよくわかる筈なのです。だが無論質問は夫々の所で書いて下さい。この第一章(一)のデッサンは実は僕自身の独創的把握なのです。

重要なことは④南部の奴隷制プランテーション制度の歴史的解決勢力は、第一に自由農民運動の中に見出さるべきこと、だが農民の後進性分散性の為に、最初の機会(独立戦争前後)を逸すること。⑤独立後の自由農民の奴隷制反対は、北部の商業資本の金権主義、金融的商業的投機的な農民収取等の為に、北部資本への農民的反対運動によつて埋没させられる。⑥結局奴隷制の真の解決は、産業資本の発達、工業労働者の発達と自由農民とが結ばれた所に成立する。⑦だがまた、その同盟が破れた時(北部資本の独占化によつて)、また奴隷制は復活する。之等です。

今日は涼しくて、ジャンパーとモンペイとは全くうつつけです。

午後上田君と安原氏とが来訪しました。三浦君が二週間許りに死んださうです。不幸な人でした。三高のストで退校させられ、徳島の家にある間に数回、何でもないことに引つかり、五、六年間拘束の中に暮し、やつと出て来て一昨年世界経済へ就職して、健康も生活も恢復したので結婚もし、子供の一人出来たのですが、昨年の夏からまた肺が悪くなり、秋には奥さんが流産して枕をならべ、幾度か起きては又悪化し、本田さんの好意で、この七月まで何とか調査会の籍を保つて来たのですが、とう／＼なくなつたのです。一昨年頃は僕ともよく話し、北山君の講演に引つぱつて行つて、二人を会はせてお互ひに感慨無量にさせたり、昨年春は北山君の所へつれて行つて、会へなかつたりしたあの人がつたのです。お葬式には棺桶も中々手に入らず、自動車も約束の時に来なくて(故障)一日のばしたり、ずい分気の毒だつたさうです。有能な立派な人だつたのに。

九月廿六日(火)雨。

今日は本室へボーナス(一ヶ月分、但し税金一割五分引)を受取りに行きました。帰りにココアとかガンバリ粉、チョコリ等を買ひ、紙芝居の桃太郎、それからブルデル彫刻集、ドラクロア素描集を買ひました。互助会の借金の一部を返さうかと思つたがやめました。ネックレスを見てまわつたがありません。分室の外の人のボーナスもあづかつてあつたの

で、余りぐずぐずしてゐられず、いい加減に帰りました。桃太郎やブルデル、ドラクロアはその中御送りしませう。

九月廿七日（水）晴。

スバラしい天気です。こんな日、どこか水のある所へピクニックしたいものです。

今日はダイヤモンド日報の第一、第二号が来たので送りました。レインの心理学も一応写し終つたので送りました。あなたの手紙は昨日も今日も来ないので、郵便受けを数回のどいて失望しました。西井君が「鳥のなかない日はあつても」と云つてゐた、そのお手紙の来ないのは淋しいです。僕のモンペは評判よろしい。西井君も一つ家をつくつてもらつて、ここではかうかなと云つてゐます。ジャンパーは彼等にはスマート過ぎて合はないでせうが。

近頃の食事は、朝、先づ雑炊（カボチャ、ジャガ、コマツナ、ウヅラ豆等）を作り、その汁をスープとして丼へとつた後、鍋をしっかりと包んで了ひ、それからムシパン（メリケン粉を儉約して、ガンバリ粉とかココアとかチコリとかを沢山使ふので、時々猛烈ににがい時がある）を作る。朝食はそのスープとむしパンとです。昼は雑炊（可成り固い）の半分を食べ、夜は残りの半分を暖めて食べる。

近頃百姓家では、小松菜ばかりです。皆芋類をほしがるが駄目です。

今日は臼田嬢が一貫目十二、三円と云ふ梨をオヤツに一つ、夕方帰る時一つ、くれました。稲田登戸まで行けば買へるさうです。一貫目で十八個ですから、一個六、七十銭につきます。戦争でなければ、今頃信州では梨をいやと云ふほど食べられる時期ですね。

あさちゃんの仕事はきまりましたか。

いねちゃんはまだ帰りませんでしたか。

九月廿八日（木）晴。

No.2のお手紙（廿五日）と疎開証明書とを受取りました。浪合ピクニック、ずい分面白かつたやうですね。せいぜいあさちゃん達と、いい遠足をして下さい。僕の分も。

こちらも昨日今日は全くいい天気で、僕の部屋はすばらしいくらいです。秋風がさわやかに吹き込み、暖い日ざしが午前中入り込み、窓の外は芝生の向ふに大きな櫛かなんかが茂つてゐて、明るくて。机の上には今日貰つたピーマンの特

に美しいのが二つのつかつてゐます。その前で独立戦争に頭をひねつてゐるのです。

レインを、自分達の多くの小児病、コンプレックスの責任を自分達の生ひ立ち、いはば両親のせいにするやうな口調では絶対に読まないこと。僕はあれを送る時、そのことを考へ、あなたの読み方、或ひは読む時間なり雰囲気なりの選び方が、お母さんの気を悪くさせるやうなものにはせんかと、若干心配する気もあつたのです。必要なことは、早苗ちゃんの育て方に参考になるやうなことを学びとること、自分達の小児病的欠陥の根源を認識し、それがすべて遅れたものであることをはつきり意識して、自分を反省すること、之等です。そして原理的には、子供の創造的欲望を尊重し、それを抑圧したり阻害したりしないこと、子供の創造的欲望を満足させるやうな手段（オモチャのえらび方など）を準備するのをなほざりにしないこと、子供の精神の発展には一定の段階があつて（いはば量と質との関係）、一定の段階には一定の態度を大人がとるべきこと、若し子供に遅れた傾向が見えたら、その原因を考へ、コンプレックスを解きほぐすやうにすべきこと、之等に心理学的に相当オリジナリティに富んだものありと認めます。

今日はまたビーマンを貰ひましたが、若しほしければ今度貰つた時にすぐ送りませうか。僕は例によつて雑炊に入れて食べるだけです。雑炊の内容もずい分変化して来たものです。最初はジャガ芋ばかり食べて雑炊ぢやなかつたが、次はキウリとナスびばかりになり、こししばらくはカボチャが主役です。メリケン粉はもうおしまひになりました。若し送つて頂だけるなら、おついでにお願ひします。

では今夜は之だけ。だんく月が大きくなつて、星が見えにくくなりました。僕の好きなフォマルハウトも光おぼつかなげです。

謙一

### 幸子から謙一あて（一九四四年九月二八〜二九日の記）

九月廿八日。

今朝稲ちやんが（八時卅分）発ちました。もつと早いので発つ心算なのに、電車の故障で暫く不通になりおくれたのです。稲ちやんはこちらに裁縫に来た様な形で、浪合行の他は殆んどミシンにかかつてゐて、冬のズボンだの国民服だの作つてゆきました。

私は相変わらず午前中は病院勤務です。始めての盲腸患者は二日目の夜、死亡しました。廿五才の女の人、もの凄く胃下

垂で貧血、營養不良、そこへ盲腸が破れたので膿が骨盤の中にまでたまり、大きなガーゼ八枚ぐつしよりにする位ありました。手術の時だつて、ロクく血も流れぬ位の貧血で、手術の前の診察できいたとき、胃下垂は一年位前から始まつて居た事がわかりました。手術してみたら腹膜をすつかり犯されてゐましたが、普通の健康体なら助かるころを、抵抗力不足のため、灯の消える様に死んでしまひました。今日は脇腹に人工肛門を作る患者と、手の手術の二つがあります。午前中暫くぶりで脊中が痛むので、午後はよさうと思ひます。

昨日、朝ちゃんのために二階の部屋を模様変へしました。私のゐた六丈（五）の方に、十二畳にあつた大きい硝子戸の戸棚を運びこみました。とても狭くなりました。まるで女学校の図書室の感じですよ。結局此の部屋は私一人占領で、十二畳に桃ちゃんと朝ちゃんが使ふ事になりました。

早苗ちゃんには毎日一時間づつ、レコードをきかせる事にしました。昨日はシューベルトの白鳥のうたの中から春のうたを。

ジャンパー、中々お気に召した様子でうれいいます。あの絵は皆でみました。早苗も見えてよろこびました。プランテーションは第一章を終り、第二章の二まで読んでゐます。どうも統計はわかりにくくて困ります。第一章の一是ノオトをとりましたが、二からあとは統計にさへひつかからなければ、楽々とよんでゆけます。第二章第一節、アメリカの農業一、も楽についてゆけます。一通全部よんでから、第二章はどこどころノオトを取るつもりです。

あさちゃんもその中、わからぬかも知れないけれど、よんでほしいと云つてゐます。此の五、六日、稲ちゃんが来てゐたせい、一人ふえたせい、家の中がごたつて落ちつきません。私も妙に疲れて積極性を欠いてゐます。今日の脊中の痛みも疲れのせいかも知れませんが。

九月廿九日

昨日は午後から黒のモンペ作りで、夜八時ころ出来上りましたから、ズボン下と共に送ります。小豆一合位と松茸二本（これはくさるかも知れませんが）、椎茸少々、梨三個入れました。梨は誰にもあげずに召上れ。



肛門周囲炎の子供（三、四才）のおしりを切開で騒ぐので、四人で押へつけてゐたら、プーツとおならをしたと思つたら、忽ち軟膏の様なウンコをコテ／＼、皆手にウンコをつけられました。看護婦さん曰く「秋ごろの患者さんは、一寸した切開でもオナラをしますに。どうでくさい奴を！」とのこと。オイモの盛りですからね。では今日はこれでさようなら。

昨日、原稿つきました。

### 幸子から謙一あて（一九四四年九月三〇日付け、同日の消印）

九月廿九日正后、廿七日附手紙（ダイヤモンド原稿）落手。夜になつて読みました。二回分しかなかつたので――まだわかりませんが、今までのものとは一寸変つた書き方ですね。甚だ雑ぱくと云ふ感じです。其の代り楽にはよめます。興味本位の続きものを要求されたからでせうね。全部よんでから感想を述べる事にします。

レーンの原稿も今夜すつかり通読、甚だおもしろいものでした。幼時に抑圧された慾望――は、後年に恐ろしい位、後退的に変則に伸びて、害を与へるものなんですね。此の頃、早苗ちゃんのメーメ叔母ちゃんを慕ふこと一方ならず、すつかり信頼されてゐる形なので、あれをよんで、一挙手一投足考へなをして行はねばならぬと思ひました。併し大体に於て、私が早苗ちゃんにとつた方針は抑圧より、他に変るべき興味の対象を与へること、干渉をせぬこと、興味を中断したり叱つたり手つだつたりせぬ事にしてゐましたが、道徳的お説教は度々やつてゐたことでしたので、多に其の点は改め様と思ひます。

八月からこつちの精神的発達は凄い程ですから、尚のこと慎重に、押しつけがましい態度は絶対とらぬ様にしようと思ひます。今後もチヨイ／＼よみ返して、考へ方を新にする必要ありますね。「火に対する……」は、私たちはあまり経験ありませんし、早苗も火に興味を起す様子もありませんが、外国人は特にさうなのかしら。

今日は病院は実にいそがしかつた。五〇人位も患者が来ました。其の中十五、六人まで、化膿の切開です。一番嫌だつたのは手親指の化膿で、つめをはがしてとる手術で、見て居も汗が出る程でありました。開腹手術より、よつ程此の方が時間もかかつたし、される方もする方も見る方も苦痛です。一番痛さうだつたのは足のひざのコツズイ炎の再発で、十五、六才の少年ですが、十二位の時骨随手術をしてゐるので、悪い方の足は発育不全で、き持のわるい程やせし

なび、ひざのかん節は手術の後、長いこと（二年も）ひざの下へ枕を当ててゐたため、ひざが普通とは逆に前に曲つてゐました。こんな風（簡略な図は省略―編者注）。さうして悪い部分は丸太程腫れて、切つたら五合位もの血うみの河でした。それも注射を五、六本もしてマヒさせてあるのですが、それはくの痛がりよう（尤もコラヘシヨウもないのでせう。大体結核性の外科の病気の患者は、どれもこれも痛さにコラヘシヨウがありません。これは長い期間の病気で、身体の抵抗力のないためと、うみもより悪性なのでせうね）で、押へるのに汗をかいてしまふ程です。あまり病院見学の事実を毎日精しく書くと、読む方は気持がわるいでせうから、今後は止めませうか。

朝ちやんの荷物の片附も大体終りました。二階はこれからは陽当りがとても貴重なものとなり、住み心持の良い部屋になりました。私の方はどうも朝一ぱいは陽がささず、うすらさむい位であります。丁度其の時刻は病院勤務で、午後の陽のさす頃から、私も自分の時間がとれます。あなたの云ふとをり、時間と勉強しようと思ふものとのひらきが、あまり大すぎるから、ローザや地代論は一応やめました。

早苗ちやんにポチチエリのヴィナスの誕生を見せたら、「ヴィナスおばちやんぢやない」と云ひます。どうしてときくと、どうしてもと云ひます。病的なところが感じられる（ヴィナスだと承認出来ない）のでせうか。では今日はこれで。

### 謙一から幸子あて（一九四四年九月二八日〜一〇月一日の記）

九月二十八日（木）晴。

毎日いい天気です。信州は松茸狩りや栗ひろひの季節です。篠田さんの所へ栗拾ひに行つてはいいかが。僕は此の前から誘はれてゐただけけれど。今農繁期かも知れませぬ。

東京近郊、と云つても経堂附近ですが、まづ陸稲が刈られて、そのあとに小松菜や菜葉類がまかれ、畑でいばつてゐるのはズイ木（マイ）とさと芋の葉です。サツマ薯はこの辺は自家用程度しか作らないさうで、今の畑は一番「つまらない」です。農家ではズイ木をわけてもらふか、菜葉ぐらいいしかなくなりました。毎日ズイ木の雑炊です。

今日、ダイヤモンド日報を送りました。

近頃毎日、朝皆の出で来る前の一時間、夕方コンロの火の起るまでの半時間、ピアノの練習です。ここは雨戸をすつか